

初版発刊から30年、累計総冊数が1万冊を越えたあ～(^_^)～

北陸のF大学の先生から、訪問している特別支援学校の教師たちが自費出版の著書「改訂版：重い障害のある子どもの援助のために～重症心身障害児教育入門～」を探し求めていることを知り、久しぶりに数冊纏めての注文があった。

10年前の15版からは改訂したが初版から30年経つというのに、今もこうして年に数冊注文あることは、嬉しい限り。

対象ターゲットの狭い専門分野の著書で、しかも単なる市井の民に過ぎない自分の自費出版なので、読んでいただける方は少ないだろうと思い初版はわずか500冊しか印刷しなかったのに、30年目に今回の注文で、謹呈260冊を含めるが総頒布冊数が1万冊を越え、感激(;_;)

自費出版なので自宅にそう多くは保管できず増刷も近年は数年に100冊程しか増刷していないので、30年で25版を数えている。

何年か前にこの分野のある専門家に、「ターゲットの狭い専門書は大手の出版社でも1500冊程しか出版しないのに、こんなにたくさんの人に読まれるとは、陰の大ベストセラ一本だ！」といわれたことがある。

それにしても、増刷毎に一部修正したり、付帯資料を追加したりと、また、何よりも数年に1回の少ない単位数の増刷のわがままを聞き入れてくれる福祉工場の印刷部の方々に、感謝_(._.)_ 感謝_(._.)_

数年前、どこで目にしたのか東京の大手出版社から、「当社で再出版しないか」との誘いの電話があったが、こうした追加修正のわがままを聞き入れてくれないだろうなあと思い、丁寧にお断りした。

恐らく大手出版社にお願いしていたら、年に数冊の注文ではとっくに絶版になっていただろうなあ。

注文受け、発送も自分でやっている全くの自費出版だったからこそ、今もこうして息長く注文をいただけるのだろうかあと、つくづく思う。

それにしても、一人でも多くの人に目にして貰いたくて利潤などは全く考えずに印刷原価とほぼ同額の頒価にしかだに、初版から30年が経つというのに著書をご紹介くださる方々がいることが何よりもありがたい。

時代が変わろうと障害児と係わる折の入門書としての根源的、基本的なことに触れ、読み易いようにと口語体で書き編集にも工夫しただけに、この30年の間には障害児周辺の福祉分野、教育分野もかなり変容してきたであろうが今の時代の現場の方々にも参考になればとご注文いただけることは、著者としてこれ程嬉しいことはない。

初版の執筆当時は世の中にPCは出回っておらず、仕事後の自宅で夜中まで万年筆で原稿用紙に向かい何度も書き直しつつ2年半かかって書き上げたが、根を詰め過ぎたのか胃潰瘍になったのも、今となれば懐かしい思い出(*^_^*)